

**2018地域ミーティング**  
**[ 神山・吉野・大虫・王子保地区 ] 開催結果**

開催日時 平成30年5月7日（月）午後7時から8時30分まで  
会場 ワークステップひろせ  
出席者 120人  
（地区）【神山・吉野・大虫・王子保地区自治振興会】会長  
（市側）市長、企画部理事、総務部危機管理幹、市民福祉部長、産業環境部長、建設部長、教育委員会事務局長、各部政策幹  
司会進行 市民自治推進課長  
記録 行政管理課

◆開会・目的説明 市民自治推進課長

◆市民憲章唱和

◆越前市自治連合会 会長（吉野地区自治振興会 会長）あいさつ

**【市政ミーティング】**

◆市長 あいさつと平成30年度予算概要や主要事業の説明（別添資料参照）  
（質疑なし）

**【地域ミーティング】**

◆①「地域自治振興計画の改定」 市民自治推進課説明（別添資料参照）

**【質疑応答】**

**Q1-1：神山地区自治振興会事務局長**

自治振興計画の運営とこれからの継続的な活性化のためには、神山地区の場合には、公民館と自治振興会が密接に協力し合って地域の自治振興を進めているわけだが、最近我々の自治振興会としての専用の事務員というのがない。そのため公民館の主事にこういう自治振興の仕事を手伝っていただいた。ところが最近の主事のローテーションを見ていると、神山地区の場合には、去年も1年目の主事と2年目の主事、二人ともが自治振興会の仕事をしたことが無かったが、また今年もたった1年しかいない人がローテーションで代わって、今年の主事もまた1年目と2年目。2人がまた自治振興会の仕事をしたことがないという人だった。これだけめまぐるしく主事のローテーションを掛けられたら、自治振興会がやっつけられない。ここでお願いしたいのは、主

事がちゃんと地区に定着できるようなローテーション計画を立てていただきたいというのが一つと、それができなくて、生涯学習課の計画、他の地区とのバランスがあるのだという事であれば専用の自治振興会の事務員が雇えるような予算をいただきたい。

#### A 1 - 1 : 教育委員会事務局長

公民館に限らず、市の職員も同じですが、人事異動はその職員の能力開発という目的の一つ、もう一つは組織の活性化を目的として人事異動を定期的に行っているところです。今お聞きしておりますと、神山地区においては、平成 29 年度、30 年度と、連続して1、2年目の職員が配置されてしまったという事で、結果的にそうなってしまったことに関して、まずは申し訳ないと思っております。それで公民館職員は実際にどのように人事異動をしているのかというところですが、公民館には公民館職員の人材育成プランというものがあまして、それに基づき、職員の経験年数、人材育成、地域の実情等を考えて行っています。また、市内 17 地区 4 つのブロックに分け、それぞれに主任主事、ベテランの公民館主事が配置されるよう注意しながら異動を行っています。

29 年度末におきましては、退職者数等も多くて、今年 30 年度の春の人事異動が多かったというふうに聞いています。公民館主事には、地域支援員という事で、自治振興会の業務も辞令に明記していますので、また業務の支援につきましても市民自治推進課と一緒に支援をしていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

#### A 1 - 1 : 自治連合会長

越前市 17 地区の中では、専従者の雇用をしている地区も実は 9 地区あります。残る 8 地区は、公民館の主事にできる範囲で、公民館主事はもともと社会教育主事でありましたから、実はある日突然、公民館の中に振興会が間借りするような形で入って、いつの間にか振興会が主導権をもって、公民館主事に指導するとか業務をやってもらうとか、これは併任辞令でいいのですが、基本的にはやれる範囲は限界がありますので、出来るだけ地域の中で、事務局の方を推薦していただいて、最小限度の費用の中で雇用をしていただく必要があると判断されるところは雇用していただきたい。かといって、その地区だけ人件費をたくさんあげますよという事にはならないと思いますので、それぞれの地区がそれぞれの事情を踏まえて振興会の業務をやっていくというのが我々の役割でありますので、その辺大変なところもあるかと思いますが宜しく願います。それぞれの地区が自助努力していただくというのが基本だという事をご理解いただきたいと思います。

Q 1 - 2 : 神山地区自治振興会事務局長

1年ごとにローテーションをするようなそんな計画はどこの企業も行ってもない。住民と一緒にやろうという事なので、やはりしっかりと根付くように、少なくとも3、4年は定着できるような形でローテーションをやるべきでないかというのが問題。

A 1 - 2 : 教育委員会事務局長

最もだと思いますので、以後人事の際には、十分配慮して対応していきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

Q 1 - 3 : 神山地区

国の方針として、国土交通省の中部管区では、中部9県の活性化のために、昇龍道を表に出して各県で中部9県の活性化を後押ししようとしている。その点について、福井県及び越前市ではどういう計画があるのか。というのは、吉野瀬川の上の広瀬に、龍神山城という史跡がある。そこに龍神のほこらもあれば豊臣秀吉の墓、分骨もあった。今、龍神の昇龍道を国がやっているの、それにのったほうがいいのではないか。

もう一点、現在、吉野瀬川ダムを進めているが、国は小水力発電を推進している。吉野瀬川ダムは最初、多目的ダムの計画だったと思うが、市の考えは。

A 1 - 3 : 神山地区自治振興会 会長

この2つのお話は、神山地区のほうでお聞きしたいと思いますので、またその時にお話をお聞かせください。

◆②「地域福祉の推進」 社会福祉課説明 (別添資料参照)

【質疑応答】

Q 2 - 1 : 自治連合会長

昨年4月介護保険の法律が改定された。そういう中で、地域コーディネーターを置いて、地域福祉の充実を図ろうという事で、各町内毎にいきいきサロン、つどいを増やしている。これについては年間回数等にあわせて交付金を各町内がいただいております、中身については充実したものが町内会によってできるだろうと思っている。そういう中で、民生費が5億2千万円減額になっている。歳入の方で言うと、市税が11億ほど伸びているけれどもなぜここが減ったのか。このことは地域福祉がきちっと充実されて、我々の各振興会が各町内の要支援者、あるいは健康増進のための医療費の抑制、介護の抑制、そういったことが

地域の振興会事業の中で取り入れられていることが減額につながったのか。それともただ予算がないからこうなったのか。

#### A 2 - 1 : 市民福祉部長

福祉が後退したのではないかというご質問でございますが、実は平成 29 年度の予算には、子ども子育て支援制度が一昨年度から切り替わったのですが、その中でも施設型給付費というものを予算化しておりました。これは公立保育園に実際には国の方で交付金という形で 5 億円出ているのですが、この交付金で国の方が給付しますと、それが市民の皆様には見えないから予算に見える化しなさいという指導が国の方からありまして、実際には入ってこないのですが、歳出で 5 億円、歳入で 5 億円という形であげていました。しかし、実際には議会でも非常に分かりにくいというご指摘もありまして、平成 30 年度において、その部分については、3 年前と同じ形にしまして、わかりやすくさせていただいたという事です。29 年度には 5 億円の予算があがっていましたが、実際には使われもしなかったし、入ってもこなかったということで、平成 29 年度と 30 年度と比較しますと、民生費においては実際の予算については変わりはないということで御理解をお願いしたいと思います。

#### Q 2 - 2 : 自治連合会長

変わらないのは説明で分かった。私が聞きたいのは、地域福祉の充実各 17 地区振興会の福祉部会の中でちゃんとやっている。行政と協働の領域をお互いが保っているわけだから、例えば、地域の振興会が地域福祉を充実させるための仕事を活発にやっていることによって、行政はこれだけ助かっているという、例えば、減らされている土木費の中に向けているのですとか、そういうような目新しいような行政の流れというものが、我々は何か一生懸命やっているけども、交付金をもらってやっているわけではない。1 億 7 千万円の決算を 17 地区の振興会でやっている。だから 6、7 千万円は自己財源がその中に入っている。税金を地域でも払っている。越前市でも払っているというのが住民の立場。そのために行政はこうなっていますよというわかりやすい説明をしてほしい。

#### A 2 - 2 : 市民福祉部長

つどいについては、本当に地域の皆様方のご協力によりまして、回数、箇所、参加者が増え、その結果、介護認定率も落ちてきたと。介護保険料についても他の地域でいうと引き上げざるを得ないというようなところが据え置かれたという事は、皆様方のご協力のおかげであり、成果が上がっていると考えております。しっかりとした数字が手元にございませませんが、その点については個別に

報告させていただきます。

◆③「福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会」 国体推進課  
(別添資料参照)  
(質疑なし)

◆終わりのあいさつ (神山地区自治振興会 会長)

◆閉会